

7  
Jul

{ 7月に予定されているセンターのイベント情報や、  
その他のお知らせについてご案内します。 }

## 夏休みスペシャルプログラム

## 「漫湖自然学校」が今年も開校します!!

【期 間】2012年7月16日(月)～8月31日(金)

【場 所】漫湖水鳥・湿地センター

## 「漫湖自然学校」7月のご案内

◆観察会:「水の中のいきものたち」7月21日(土) 10:30-12:30

「泥の中のいきものたち」7月29日(日) 9:30-12:00

◆研究室:「漫湖の水しらべ隊」7月22日(日) ①10:00-12:00 ②14:30-16:30

「鳥のホネホネ倶楽部」7月28日(土) 9:30-12:30 ※8月19日と2日間の参加が条件です。

「ゼミ博士の部屋」7月28日(土) 14:30-16:30

◆自由研究相談室:夏休み期間中の毎週金曜日

※各イベントの予約お申し込みは、開催日の二週間前から行います。

※「漫湖自然学校」8月のイベント情報やその他イベントの詳細い内容は、お問い合わせまたはセンターホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】 漫湖水鳥・湿地センター ☎098-840-5121

## 「第3回沖縄県子ども環境会議」の開催について

今年も「沖縄県子ども環境会議」が7月14日(土)～15日(日)の2日間、漫湖水鳥・湿地センターを会場に開催されます。今年は新たにラムサール条約登録される宮古島からの参加を含めた、県内7湿地から約30名の子どもたちが集まって議論が交わされる予定です。

※会期中は多数の関係者で混雑することが予想されますが、一般の来館者の皆様も通常通り漫湖水鳥・湿地センターをご利用頂けますので、ご理解とご協力よろしくお願ひ致します。

## 夏休み期間中の開館日について

7月に入るともうすぐ夏休み!漫湖水鳥・湿地センターでは、今年から夏休み期間中は休館日を設けず、  
月曜日でも毎日開館することになりました!これまで以上に、たくさんのご来館お待ちしております!

Topic :

{ いきものファインダー  
漫湖の風景 - 9 }



## 見ているようで、見えていないもの。

5月も終わり頃、出勤して最初に出会う駐車場脇のいつもの景色の中に、たくさん白い花が彩りを加えていた。一瞬、「ギンネムか?」と思ったが何か少し違うようだ。近寄ってよく見てみると、その白い花はギンネムに絡まるように伸びた蔓の先端に咲いていた。早速調べてみると「リュウキュウボタンヅル」だということが分かった。今までずっと同じ景色を見ていたはずなのに、この花に全く気がつかなかった。去年のこの時期も、この場所で同じように咲いていたのだろうか?全然記憶が無い。しかし、色々調べているとこのリュウキュウボタンヅル、隔年開花と言う人もいるようで、過去の統計からもちょうど今年はその開花年にあたっていた。果たしてその真実は?来年を待とう。



**5/13(日)**  
**初心者向け野鳥観察会：**  
**「身近な鳥を観察してみよう」**

毎年5月10日～16日は『全国愛鳥週間』となっています。身近な野鳥に触れ親しむことを通して、野鳥だけでなくそれをとりまく生態系を含めたすべての自然を守っていく大切さをみんなで考える、とても大切な一週間です。

毎年、センターでもこの期間にあわせて野鳥観察会を実施しています。今年は、これから野鳥観察を始めてみたいという人や、漫湖の自然をあまりよく知らないけどちょっと興味があるという人を対象にした、「初心者向けの野鳥観察会」を行いました。

愛鳥週間のこの時期はちょうど鳥たちの繁殖期にもなっていて、身近な鳥たちのさえずりや求愛行動が観察できます。この日も、イソヒヨドリのオスがメスに餌を運んできてアピールしている様子を観察する事ができましたし、さえずりを通して身近な鳥の鳴き声を覚えるのにもピットリでした。

日々の暮らしの中で、何気なく見たり聞いたりしている身近な野鳥に目を向ける事も、自然を守る大切さを考える大事な一歩です。



**5/3(日)～5/20(日)**  
**企画展：**  
**「沖縄のアリ」**

5月3日～5月20日の間、企画展「沖縄のアリ」が開催されました。展示されたアリの種類は全部で100種類以上、しかもそのほとんどが沖縄に生息するアリたちです。この企画展のために宮城島から「クロトゲアリ」の巣もまるまるやってきました。期間中はちょうどゴールデンウィークとも重なり、たくさんの子どもたちが沖縄のアリに興味津々でした。

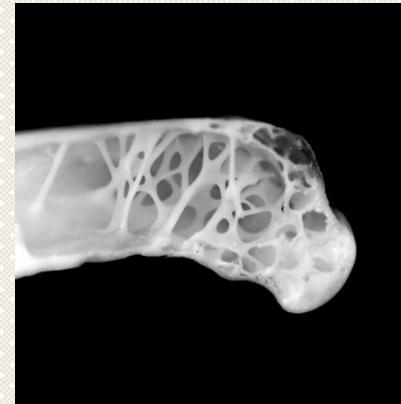
12日(日)には、この企画展にあわせて講演会も行われました。お話しして頂いたのは、この企画展の発案者でもある高嶺さんです。高嶺さんは高校で生物を教える傍ら、長年にわたってアリの研究をしていました。そして退職を機に「自分が研究しているアリについて知ってもらうことで、今の子どもたちにもっと生き物に関心をもってもらいたい」と、今回の展示を企画されたようです。展示に使用する道具なども手作りしている高嶺さん。その優しい口調の内側に秘められた熱い思いは、きっとこどもたちにも伝わっていると思います。

■ 2012.5/1 — 2012.5/31

{ 漫湖で確認された野鳥 …………… 計 35 種 }

**漫湖 寄鳥見鳥**

**5/18**



**鳥の骨の中はスカスカ。**

鳥は空を飛ぶために骨が軽くなっている。骨が軽いのは、もちろん“軽量化”されているからで、それを示す写真は図鑑などでも目にする事ができる。さてこの度、実際にそれを確かめられる機会を得た。センターで以前から保管していたカモ(不明)を骨格標本にしたのだ。残念ながらパーツとしてしか使えなかったのも、思い切って上腕骨を切断してみた。そこには図鑑で見たのと同じ骨の姿があった。思わず嬉しくて「ホントだ、中がスカスカだ!」と、声を出していた。まさに「百聞は一見に如かず」である。

**漫湖で確認された鳥類一覧**

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1, ゴイサギ      | 26, リュウキュウツバメ |
| 2, ササゴイ      | 27, シロガシラ     |
| 3, ダイサギ      | 28, ヒヨドリ      |
| 4, アマサギ      | 29, イソヒヨドリ    |
| 5, チウウサギ     | 30, シジュウカラ    |
| 6, コサギ       | 31, メジロ       |
| 7, アオサギ      | 32, スズメ       |
| 8, クロツラヘラサギ  | 33, ハシブトガラス   |
| 9, ミサゴ       | 34, ドバト       |
| 10, ツミ       | 35, シマキンパラ    |
| 11, ハヤブサ     | 36,           |
| 12, オオバン     | 37,           |
| 13, ムナグロ     | 38,           |
| 14, キョウジョシギ  | 39,           |
| 15, アカアシシギ   | 40,           |
| 16, アオアシシギ   | 41,           |
| 17, キアシシギ    | 42,           |
| 18, イソシギ     | 43,           |
| 19, チウウシャクシギ | 44,           |
| 20, セイタカシギ   | 45,           |
| 21, クロハラアジサシ | 46,           |
| 22, コアジサシ    | 47,           |
| 23, キジバト     | 48,           |
| 24, ズアカアオバト  | 49,           |
| 25, カワセミ     | 50,           |

※この観察記録は、毎月実施されている鳥獣保護区の定点カウントの記録と、センターでの観察記録を基にまとめたものです。